

## 方針5. 多様性の視点を踏まえた平和への貢献と多文化理解の推進

### (1) 平和の継承と発信

#### 【目指す将来像】

- 町民が戦争の記憶を風化させることなく、平和を継承・発信していくとともに、誰もが安心して様々な活動に参加できる平和なまち

#### 【現状と課題】

「男女共同参画社会の実現」は、人権が尊重された社会の実現であります。それ以前に、平和な社会である必要があります。SDGsの目標16では、「平和と公正をすべての人に」が掲げられており、平和な社会をつくることなどを求めています。

沖縄県は去る太平洋戦争で国内唯一の地上戦を経験し、計り知れないほどの人的・社会的・文化的な被害を受けました。本町も例外ではなく、首里・那覇に隣接し陸軍病院を抱えながら経験した激戦地としての記憶が、地域社会の至るところに染みついています。戦争は男性だけではなく、女性も様々な被害を受けるため、男性の視点だけでなく、女性の視点でも戦争被害や平和への思いを受け継ぎ、発信していくことが重要です。

本町では、学校での平和教育や平和交流を行い、講師派遣、戦争遺物を活用して戦争の歴史、人権に関わる問題や実態について学習しています。また、文化センターや沖縄陸軍病院南風原壕群の見学による戦争を学ぶ機会を設けています。今後も、平和教育・学習や平和を発信する取組を通し、世界中の誰もが共に安心して暮らしていくことのできる社会を築いていくことが求められます。

#### 【基本的な考え方】

平和な社会を継承・発信していくため、南風原文化センターや沖縄陸軍病院南風原壕群の活用及び女性の視点での戦争被害、平和教育などを行い、戦争の記憶を風化させることなく、平和を守り・発信します。

#### 【具体施策】

具体的な施策	施策の内容	担当課
① 平和特別授業の開催等の取組や平和学習の推進	平和教育において「南風原文化センター」での戦争・平和に関する講話や展示会、学校に出向いての特別授業を実施し、平和の大事さや女性の視点での戦争被害や平和への思いを伝えるなど、平和学習の機会を充実します。	生涯学習文化課
② 家庭・地域における平和教育等の推進	南風原文化センターや沖縄陸軍病院南風原壕群を活用した平和教育及び女性の視点での平和教育の機会確保を図るとともに、南風原平和ガイドの会の育成・支援、平和ガイドとして町民の参画を促進します。	生涯学習文化課
③ 平和事業の活動拠点を活かした事業の充実	子ども平和学習事業の充実と、そのOB達からなる「アオギリ.com」及びその下部組織の「南風原ユース」の組織強化などを通し、継続した平和学習と実践的な活動の拡充に取り組みます。	生涯学習文化課

## 【家庭・地域・職場に期待する役割】

### ○家庭では：

- ・慰霊の日など、あらゆる機会を通し、家庭内で男女の視点から平和について話し合ひましょう。
- ・学校で行われた平和学習の話を家族で共有し、戦争や平和について話す機会を持ちましょう。

### ○地域では：

- ・南風原文化センターを見学したり、地域の戦争遺物を再認識し、平和の大切さについて共有する機会を持ったり、次世代への受け継ぎについて考える機会を持ちましょう。
- ・ガイド養成講座等による地域案内人の養成を図るとともに、地域の高齢者が子ども達に戦争体験を伝える機会を設けるなど、平和の発信に取り組みましょう。

## (2) 多文化理解の推進

### 【目指す将来像】

- 多文化理解が町民に広がり、南風原町のよさと多文化のよさが認め合えるグローバルなまち

### 【現状と課題】

日本では、社会のグローバル化が進み、沖縄県においても、近年は、外国籍の方々が地域に増えてきています。国籍や性別に捉われず多様性を認め合うためにも、異文化を学び理解するとともに、日本・沖縄・南風原の文化を発信していくことも大切です。

本町では、国際交流事業による中学生の海外派遣や海外移住者子弟研修生受け入れ事業等を行っています。今後も、国際的な視野を持ち次代のまちづくりを牽引していく人材の育成充実を図っていくことが求められます。また、各学校においても多文化理解をするための教育を実施しており、今後も多文化理解を深めていくために、教育の充実を図ることが求められます。

### 【基本的な考え方】

多文化理解の推進及び国際的な視野を持つ人材の育成を図るために、国際交流を推進します。さらに、多文化理解を深めることにより、町民に多様な価値観が生まれ、様々な考え方を広げるきっかけづくりを推進します。

### 【具体施策】

具体的な施策	施策の内容	担当課
①国際交流事業の充実	町内の中学生をハワイとカナダへ交互に派遣し、海外の文化や現地生活の体験を通して、外国における家庭や学校生活での男女の役割分担を学ぶなど、多文化理解を深め、広い視野を持った豊かな人材を育成します。	生涯学習文化課
②海外で活躍している県系人との交流の実施	海外移住者子弟研修生受け入れ事業等を行い、沖縄県や南風原町から海外へ移住した人と交流することで、現地での女性の置かれている現状を把握するなど、互いの理解を深め、多文化理解の向上を図ります。	生涯学習文化課
③多文化理解を深められる機会の創出	海外展の開催や町内外に在住する外国人と交流するイベントなどを開催することで海外を身近に感じ、多文化理解を深められるような取組を充実させます。	生涯学習文化課 学校教育課

### 【家庭・地域・職場に期待する役割】

○家庭では：

- ・地域の文化や国際社会・異文化に関心を持ち、国際理解について話し合ひましょう。

○地域では：

- ・地域に暮らす外国人との交流機会・交流の場を積極的に設けるとともに、互いの文化を理解し合ひましょう。

## 第三次南風原町男女共同参画計画の成果目標一覧

本計画の取組効果を確認するため、以下の成果指標を設定し、計画期間での目標達成を目指します。

方針番号	評価指標		担当課	現状値 令和2年度 <2020年度>	目標値	
					令和8年度 <2026年度>	令和13年度 <2031年度>
方針1	広報誌や情報誌を活用した意識啓発		企画財政課	0回/年	1回/年	2回/年
	男女の地位の平等感 (中学生の目線で見 た平等感)	家庭での平等感	企画財政課	56.3%	70%	80%
		学校での平等感		44.5%	60%	70%
		社会での平等感		27.3%	40%	50%
方針2	審議会等委員の女性登用率		企画財政課 (全課)	30.5%	40%	50%
	“女性の翼”で県外・国外へ派遣した人数		企画財政課	15人/延べ	20人/延べ	25人/延べ
方針3	乳がん検診受診率		国保年金課	21.0%	50%	50%
	子宮頸がん検診受診率		国保年金課	18.2%	50%	50%
方針4	マタニティ教室や両親学級等への父親の参加促進		国保年金課	9人/年	10人/年	10人/年
	南風原町男性職員の育児休業取得率		総務課	20%	30%	30%以上
方針5	“南風原平和ガイドの会”の人数		生涯学習文化課	43人/年	50人/年	50人/年
	“国際交流事業”の派遣人数		生涯学習文化課	10人/年	10人/年	10人/年

※「男女の地位の平等感(中学生の目線で見  
た平等感)」は、令和3年度実施の意識調査より